

【島のくらしの情報】**対馬島**

①仕事（収入）の状況	島内の基幹産業は水産業（第一次産業）です。また、建設業や公務員などのサービス業が多く、最近では韓国人客増加により観光業が盛んになってきました。 また、今年度の月間有効求人倍率は軒並み高水準で推移しており、島全体で働く人を求めている状況です。
②住居の状況（貸家、空き家など）	・島内に不動産会社があります。 ・賃貸アパート、戸建て売買物件があり、アパートの家賃相場は5万～/月 ・市営住宅や移住者向けの定住支援住宅の利用も可能です。 ・空き家バンク物件も、賃貸、売却物件を用意しております。
③医療環境の状況	・島内には、長崎県対馬病院、上対馬病院の県立病院の他に個人病院もあります。 ・急患は海上自衛隊のヘリコプターなどで本土の病院へ搬送しています。
④福祉環境の状況	介護保険サービスの事業所が82あり、デイサービスなど各種サービスを提供しています。
⑤教育環境の状況	島内には高校3校、中学校12校、小学校20校、幼稚園3園があります。
⑥上下水道・電気・ガスの状況	○水道・下水処理 水道普及率は99.8%で 下水処理は合併浄化槽等に対応しています。 ○ガス プロパンガスを利用しています。 ○電気 火力発電所を利用しています。

<p>⑦本土との交通手段（費用、時間、便数など）</p>	<p>○飛行機（ANA：http://www.ana.co.jp/ ORC：http://www.orc-air.co.jp/）</p> <p>福岡空港→（35分）→対馬やまねこ空港</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全日空（1日4便） ・料金 片道：15,900円 往復（片道）：14,100円 <p>長崎空港→（35分）→対馬やまねこ空港</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンタルエアブリッジ（1日4～5便） ・料金 片道：15,850円 往復（片道）：12,700円 <p>○ジェットフォイル・フェリー（九州郵船：http://www.kyu-you.co.jp/）</p> <p>博多港→（ジェットフォイル135分・フェリー275分）→厳原港</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェットフォイル（1日2便） 料金 6,680円 ・フェリー（1日2便） 料金 1等：5,510円 2等：3,870円 <p>博多港→（フェリー320分）→比田勝港</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェリー（1日1便） 料金 4,590円
<p>⑧島内の交通手段（費用、便数など）</p>	<p>〈島内公共交通機関〉</p> <p>○バス（対馬交通（株）：0920-52-1810）</p>
<p>⑨買い物場所・物価の状況</p>	<p>○買い物場所</p> <p>島内には大型商業施設や商店、レストラン、食堂などが点在しています。</p> <p>○物価</p> <p>米（対馬ヤマネコ米※地元米5kg）3,000円、ティッシュペーパー（5箱入り1パック）特価時198円、ガソリン（1ℓ）156円など</p> <p>※対馬島の大自然は様々な食材を提供してくれますので、魚釣りや山菜狩りなどで食材が無料で手に入ります。また、温かく人情味溢れる人が多く、地元の人と仲良くなれば、野菜や魚などお裾分けも多くあります。</p>
<p>⑩これまでの移住実績</p>	<p>UIターン者約60名（H18～現在まで）</p>

<p>⑪移住を希望される方の短期滞在、 下見に対する支援の状況</p>	<p>移住希望者の方へ「移住お試し住宅」を用意しております、1日あたり500円で利用できます。家具家電については一通り準備しております。</p> <p>下見の際は、施設案内ツアーとして、住居・病院・市街地・季節に合わせた名所、関連スポットなどを市職員が公用車で案内します（移住を検討されている方限定です。）</p> <p>※事前に日程やルートの調整が必要です。</p>
<p>⑫移住にあたっての支援の状況</p>	<p>移住については、「しまぐらし応援室」を設けており移住に関する相談・支援についての対応を行っております。</p> <p>今年度から移住者支援として引越経費の一部や賃貸物件の借上経費、家賃等への補助金を創設しました。結婚を機に移住される方、中学生以下のお子さんと一緒に移住される方へは更に補助金を用意しております。</p> <p>対馬市空き家バンク制度に登録している住宅を、移住者の方に紹介しています。</p> <p>住居探し、移住相談については市民協働・交通対策課において上記のようなサービスを実施しております。</p> <p>その他、個人・団体に対する各種助成金に関する相談も承っております。</p>
<p>⑬そのほか島での暮らしぶりについて 伝えておくべき必要な情報</p>	<p>公共交通機関（バス）はありますが、便数が少ないため、島内での観光には自動車での移動をおすすめします。</p> <p>対馬では、釣り・シーカヤック等の海遊び、野鳥観察など自然を活かした暮らしが堪能できます。</p>